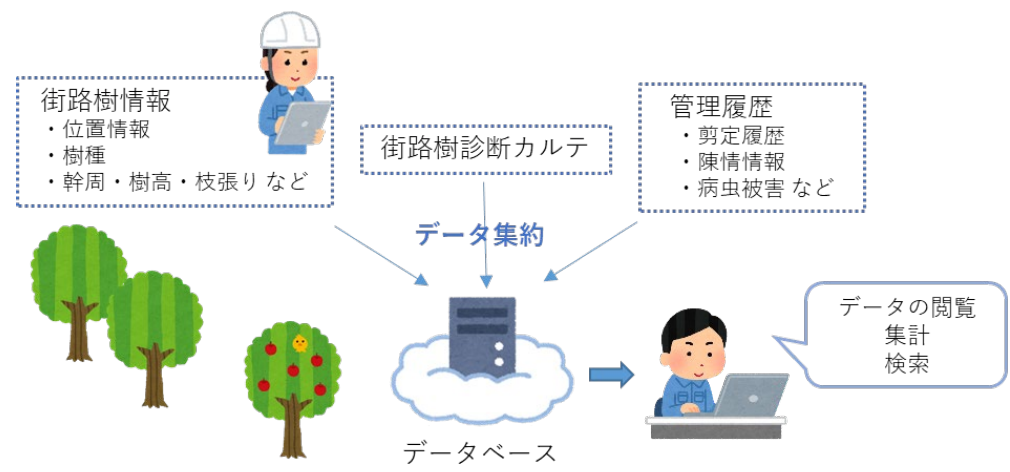


1. 新技術を用いた取組

[＜事例リストに戻る＞](#)

事例番号	⑥-(9)
事例名	街路樹管理台帳のデータベース化
自治体名	東京都
導入時期	令和4年3月
取組の背景・目的	東京都では約65万本もの街路樹を管理している。これまで街路樹に関する膨大なデータを紙資料(管理台帳や街路樹診断カルテなど)で保存してきたため、必要な情報を探すのに時間がかかり、また、データの更新や集約的な管理が困難であるという課題があった。これらの課題を解決し、迅速かつ効率的な維持管理を実施するため、本取組を開始した。
取組の概要	街路樹の位置情報、樹種、大きさ、街路樹診断カルテ、管理履歴などを一括して管理するデータベースを構築し、効率的な街路樹管理を行う。 令和4年度現在、千代田区・中央区・港区の都道街路樹のデータベース化が完了している。今後、都道全域のデータベース化を順次実施する。
内容	<p>[システムの概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>街路樹の位置情報、樹種、大きさ、街路樹診断カルテ、管理履歴などを一括して管理する、内部職員向けのクラウド型データベースシステム。</li> <li>データの閲覧に加え、集計や検索なども容易に行うことができる。</li> </ul>  <p>The diagram illustrates the data flow of the system. On the left, a worker in a blue uniform and white cap is shown with a laptop. A dashed box next to them lists '街路樹情報' (Street Tree Information) including '位置情報' (Location Information), '樹種' (Tree Species), and '幹周・樹高・枝張りなど' (Circumference, Height, Branch Spread, etc.). An arrow labeled '街路樹診断カルテ' (Street Tree Diagnosis Card) points from this worker to a central cloud icon labeled 'データベース' (Database). Another arrow labeled '管理履歴' (Management History) points from a dashed box containing '剪定履歴' (Pruning History), '陳情情報' (Complaint Information), and '病虫被害など' (Disease and Pest Damage, etc.) to the database. From the database, an arrow points to a worker on the right with a laptop. A speech bubble next to him says 'データの閲覧 集計 検索' (Data Viewing, Summary, Search). Below the database icon, the text 'データベース' is written.</p>
取組によって得られた効果	都民からの街路樹に関する問合せや要望への対応時に、システムを利用して当該街路樹の情報を得ることで、より迅速に対応することができるようになった。また、職員が街路樹の剪定委託等を設計する際に、数量を把握のための基礎資料とすることができ、業務の効率化に寄与した。
苦労した点	データベース化に当たっては都道全域で街路樹情報(位置情報・樹種・幹周・樹高・枝張りなど)の現況調査を行う必要があり、データベース化の完了に時間を要している。
工夫した点	データの閲覧に加え、集計や検索もできるシステムとした。
今後の課題	街路樹診断カルテや倒木等の各種情報の蓄積により、これまでの画一的な管理から、樹種や生育環境を踏まえた街路樹の維持管理サイクルの確立、展開を目指す。
連絡先	東京都建設局公園緑地部計画課道路緑化計画担当 [電話番号 03-5320-5491]